

# 7.29 閔麗夢博士インタビューハイライト

## Bannon氏 War Room 出演



## 【日本語】

スティーブ・ Bannon War Room EP306

<https://youtu.be/WUXm0PepVUQ>

## <Part I>

### [バノン氏]

閔博士、貴女は、ルターさんの番組でこのウイルスに関する告発をした後に、米国にいらっしゃいましたね。このウイルスは中共国、はっきり言えば武漢の研究所から来たものであるにも関わらず、何故か米国人は皆、その事実に向き合おうとしていません。

ですから原点に戻って、なぜ貴女がこのような告発をするのか、詳しく教えてください。

### [閔博士]

まず、皆さんが中共国の実態も、このウイルスの由来も、未だに正しく理解していないということを指摘しなければなりません。このパンデミックの発生当初、中共政府は、WHOをはじめ科学分野をも巻き込んで事実の隠蔽を図りました。また、数多くのデマを流布し、大衆や関連分野の関係者を惑わせ、誤った情報を信じ込ませたのです。

そうやって人々は正しい情報を得られなかった。このウイルスは、自然由来ではありません。巷で言われているような、コウモリを宿主とする自然界のウイルスなどではなく、ある種のコウモリウイルスをベースに人為的な合成したものです。このコウモリウイルスは、中共解放軍の某研究所が発見し、その研究所しか持っていないものです。

### [バノン氏]

閔博士、貴女が言う自然由来ではない、コウモリウイルスそのものではない、ということは即ち、人工的に作られたということなのではないでしょうか。そこを詳しく説明して下さい。何を証拠にそう言えるのですか、我々米国の視聴者に理解してもらう必要があります。主流メディアの論調からかなり外れることとなります。彼らはずっとあの「コウモリ女」とコウモリについて言及していました。貴女の仰る「コウモリウイルスとは異なる」、「自然由来ではない」や「人工的に合成」とはどういう事ですか。

### [閔博士]

これは直接人間に感染したコウモリウイルスではなく、ある種のコウモリウイルスを基礎としており、それは中共解放軍（の研究所）が発見、

保有しているものです。それををベースに人工的な操作を施し、動物間の感染実験を経て、人間に感染しやすように合成されたのです。ですから、人類にこれだけ大きな被害をもたらせたのです。

これは確固たる証拠であり、ウイルスのゲノムがちょうど人間の指紋のように照合が出来るように、そこから様々な証拠が見い出されます。そこからどうして中共政府が初期段階からゲノム配列の公開を引き延ばしたり、故意に改ざんを図ったかが解ります。

彼らは初っ端から誤ったゲノム配列解析を米国国立衛生研究所に提供していました。私は、その事をルターさんの番組を通じて告発したのです。その後、翌日すぐに彼らは「コウモリ女」こと石正麗氏の論文をネイチャー誌に提出、2月3日に発表されたのが、かの **RaTG13** に関する内容でした。すでに科学界と WHO は中共政府による影響力で操られており、彼らによって **RaTG13** がウイルスの起源であるかのように語られ始め、人々の視線は誤った方向へ導びかれたのです。

### [バノン氏]

では確認ですが、彼らは最初は（1月12日に）ミスによって誤った、うっかり定番のゲノム配列を発表してしまい、後日それを撤回した、若しくは偽りのゲノム配列を出してしまった。

その後、貴女の告発が原因で、彼らはまた正しいゲノム配列を公表した、そういうことでしょうか。

### [閔博士]

経緯を話しますと、今年の1月12日、中共政府と他の科学者たちは、初めて武漢コロナ患者から採取したウイルスの分離に成功し、そのゲノム配列情報を米国国立衛生研究所（NIH）のゲノムデータベースにアップロードしました。

当時私の夫はウイルス研究の分野では権威のある学者であり、WHO の専門家でもありました。彼はその調査を行ってから私にこれが誤ったゲノム配列であると告げたのです。

### [バノン氏]

つまり、貴女は1月12日に中共の発表したウイルスデータが間違っていると告げられたのですね。

### 〔閔博士〕

そうです。夫は自身の調査をもとに私に教えてくれました。彼は、本当のゲノム配列に興味を持っていました。

### 〔バノン氏〕

ご主人はとても著名なウイルス学者で、香港ウイルス研究所に勤めていますね。

### 〔閔博士〕

はい、そうです。彼も同様、WHO 認証の基準試験所に所属し、私よりも経験があり、マリク・ピーリス教授とレオ・ポーン（潘烈文）教授のもとで最も優れたアシスタントとして働いていました。

### 〔バノン氏〕

当時、貴女とご主人や他の研究者らは、彼ら（中共政府）が正しいゲノム配列を米国国立衛生研究所（NIH）に提供しなかったことに驚きを感じませんでしたか。

### 〔閔博士〕

ええ、とても驚きました。あのゲノム配列が間違っていることは明らかでしたから。ゲノム配列のデータはウイルスの指紋のようなものですから、採取し公表するプロセスで間違いが起こるはずがないのです。

夫は「これは本当に気味が悪い。あり得ない間違いだ。」と言っていました。

### 〔バノン氏〕

米国の視聴者に代わって確認しますが、これは不注意によるミスではない、ということですね。

### 〔閔博士〕

はい、その通りです。

## [バノン氏]

どうして不注意はあり得ないのでしょうか。

どうして故意だと分かるのですか。

## [閔博士]

背後にある本当の動機は恐らく中共政府に直接聞くしかないでしょう。本当のゲノム配列と関連情報を握っている人たちに聞かないと分かりません。

私達には 1 月 12 日に彼ら（中共政府）が誤ったゲノム配列を公表したということしか言えません。その情報が基だと、ウイルス学者や科学者は舟山コウモリウイルスが起源であるということに辿り着くことは出来ません。つまり、中共解放軍しか所有していない今回の新型コロナウイルスの骨組みとなる部分です。

しかし、翌 1 月 13 日に、早くも初の海外感染者がタイで確認されました。よって外国でもウイルスサンプルを入手し分離解析することが出来るようになり、中共政府の提供したゲノム配列が誤りであることを容易に見破ることが可能な状況になったです。

## [バノン氏]

それで、彼らの嘘がばれたのですか。

## [閔博士]

そうです。こうした急速な拡散により早くも海外で感染者が現れたことは、彼らにとって想定外だったのでしょうか。ウイルスが変異する暇もなかったことで、海外の専門家が感染者を通じて初期の新型コロナウイルスのゲノム配列を入手し分離する確率が高まったわけです。

その結果、彼ら（中共政府）は、米国国立衛生研究所（NIH）に提供した誤りのバージョン 1 のゲノム配列を 1 月 14 日に撤回し、バージョン 2 のゲノム配列を提出し、変更した旨も記載しています。このような短期間のうちにゲノム配列情報が訂正されることは、ゲノムデータベースの出来事としては極めて異例です。



あの時点から比較すればお判りでしょうが、データベースにある全てのゲノム配列を照合すれば、舟山コウモリウイルスの **CZ-45** と **ZXC-21** 遺伝子が **SARS-CoV-2** と一番類似性が高いことが分かります。

### [バノン氏]

では、1月14日に米国国立衛生研究所（NIH）に提供したゲノム配列は正しいものだったのでしょうか。それとも、また間違っていた？

### [閔博士]

そうですね、ほぼ間違いないと思いますが、不思議なことに、彼らは3日後の1月17日に、バージョン3のゲノム配列を提出したのです。それは、以前のより少し長いもので、私も重要なタンパク質を幾つかチェックし、ほぼ大丈夫かと思いますが、14日と17日の全ての比較検討は終わっていませんでしたので、何か他に重要箇所や誤りを見落としている可能性は否めません。

### [バノン氏]

ということは、貴女のインタビューが彼らの変化の引き金となったと？

ルターの番組で貴女の情報が伝えられたことが彼らにデータ改正をさせたきっかけの一つになったと？嘘がばれるのを防ぐために？

### [閔博士]

いいえ、それは17日以前の出来事で、私がルターの番組で情報を公開する前のことです。1月19日北京時間の夜間に番組が放送され、翌1月20日に「コウモリ女」のあだ名を持つ石正麗教授がネイチャー誌に **RaTG13** に関する論文を投稿しました。またその論文の発表と同日に張永振教授も同じくネイチャー誌に同じテーマで論文を出しています。彼は一番早くに **SARS-CoV-2** のゲノム配列を公表し、それが舟山コウモリウイルスとの類似性が最も高いと指摘していました。

そしてその論文が原因で張永振教授は処罰を受け、彼の **P3** 施設も閉鎖。

### [バノン氏]

だとするとこれは中共の隠蔽工作の一部であると？香港の基準試験所、もしくは他の、例えば **WHO** のような組織と組んで、彼らが犯した罪や共謀の事実を隠蔽する為に仕組んだと、そう主張しているのですか？

## 〔閔博士〕

はい、そうです。隠蔽よりも酷いわ、経験のある科学者なら誰でも常識から察することが出来ます。このウイルスのゲノム配列を見れば分かるように、指紋に例えればいいかしら、そこには問題点があると察知できる筈です。大本から言うと強化版の **SARS** ウイルスだと思えばいいわ、その他にも致命的な機能を備えたウイルス、まるで牛の体に鹿の頭、ウサギの耳にサルの手を持つ化け物のようにね。

そんなの自然由来であり得ると思いますか？

## 〔バノン氏〕

自然由来ではない、というの？ これを他の目的で作りに出したとか？ 彼らはワクチンとか **SARS** の治療方法を探っていたということ？

それとも、兵器化の計画、つまり実際に使用可能な兵器を作ろうとしていたのか？

## 〔閔博士〕

私はここ何年間かずっとワクチンの開発に携わってきました。これは **SARS** ワクチンを作る為なんかではないとハッキリ申し上げられます。簡単に例えるなら、子どもにおもちゃのピストルを与える時、普通ならば弾丸など危険なモノを取り外してから与えますよね。

であれば、このウイルスの特性を考えると、まるでおもちゃのピストルに鋭利な刃物やミサイルを取り付けてから子どもに手渡し、それで遊ばなさいと言っているようなものです。

## 〔バノン氏〕

仰っている意味は、100%自然由来ではありえない、つまりこれは綿密な練り上げられた計画だと？

## 〔閔博士〕

常識からすればその通りです。

## <Part II>

### [バノン氏]

閔博士、貴女はどうやってルターさんと連絡を？ 貴女のメッセージを初めて世の中に伝える場所として提供したのが彼だと聞いていますが。

どうして彼のような毎日反中共の内容をライブ配信する人に連絡を取ったのですか？

### [閔博士]

私は既に郭さんやルターさんの番組をしばらく見ていました、香港民主化運動が始まってからは特に注目していました。ご存じのように中共政府は常に自由を求める声や真相を弾圧していたので、私は信頼出来るチャンネルから当時の情勢を把握したかったのです。私が香港の街中で目撃した真相はテレビやネットの番組ですべて情報規制により中共に抑圧されていたのです。

真相を知ることが出来ず、真実は歪曲されている。ですから本当に真相を伝えてくれる、私の観点を支持してくれる声が必要でした。彼らの番組のおかげで私は中共の闇を更に知ることが出来ました。私がウイルスの調査を始め、真相に触れた時、何ら WHO からは反応がなく、中共も人々に事実を知られまいと隠していました。

一番肝心なのは、信頼できるルートを使って世界の人々にこの非常事態を知らせなければなりません。（中共）政府も、主流メディアも...ルターメディア以外は誰一人として信じられませんでした。彼は頑なに正義を守り、絶えず世に真相を伝えてきました。ですから彼を信じ、彼なら理解し、人々にこの情報を伝えてくれる、協力してくれると思いました。

### [バノン氏]

これは 1 月 19 日辺りの出来事だね、1 月 19 日。間違っていたら訂正してください、確かもうすぐ旧正月を迎えるはずだった、そして取り消しになったそうだね。

だから 1 月 19 日の前、貴女は（パンデミックの）事態が中共当局や香港大学の実験室、そして WHO や北京の疾病対策予防センターなどにひ



た隠しにされ、だからこそ本来ならいち早く知れ渡らなければならない情報をルターさんや全世界に知らせようとした。

当時の貴女はその情報をルターさんに伝えることで自分を危険にさらしてしまい、恐ろしいことになると思わなかったのですか？

### 【閔博士】

勿論、初めから知っていました。この情報をルターさんに伝えることで危険に陥り、命すら落とすかもしれないと。どんな時でも、ルターさんに連絡を取るだけでも（中共に）捕まえられる可能性がある、全世界が彼らの監視下にあるのですから。私の唯一の心配は、情報が知れ渡る前に自分が「消される」ことでした。

ラッキーにも私はそれを成し遂げました。本当にとっても怖かったです。

ルターさんの番組放送の前日、即ち北京時間 1月 19 日の何時間か前の出来事で、WhatsApp のアプリで全世界範囲の技術問題が発生しました。当時私は香港大学の図書館から何のメッセージも画像も送信できずにいましたので、ああ、もう終わりかもって、中共に見つかったのかとも思いました、すごく怖かったです。当時すでにルターさんとは 2 日間も連絡を取り合っていて（パンデミックの真相を信じてもらう為に）、事情の説明をしていたからです。

ですからあの時、すぐに WhatsApp のアプリを一度削除して再ダウンロードし、また削除を繰り返し、そのあと Skype に切り換えて、全ての真実な情報、写真画像、職場の情報などをルターさんに送ったのです。そして自分は決して自殺はしない、一旦もし「消された」なら、それはきっと中共の仕業であると伝えました、香港のデモ抗議者に行っていると同じように。

### 【バノン氏】

だとすると、貴女は実際にルターさんに

「よく聞いて、私は生涯決して自殺はしない」

「もし私が消えたら、彼ら（中共）は私がウツで最終的に飛び降り自殺したと言う」

「そしたら私はきっと投げ落とされたのであって、自分から飛び降りたのではないの」

と、そう言ったのですか？

### 【閔博士】

そうです。これは全ての香港デモ抗議者が知っていることで、彼らもそのように家族や友人たちに告げています。香港政府や警察は、この人達が裸の死体で海で発見されるといつも突然の自殺で遺書も残さなかったと言うでしょう、どこにも疑わしい所見がないと、純粹に自殺であると断言します。このような事件は中共国では毎日起こっているのです。

### 【バノン氏】

そして 1 月 19 日になった。少し前に戻すが、貴女の上司...あの日のインタビュー内容、私の記憶が正しければ、たしか 1 月 8 日或いは 9 日あたりに、一月最初の週末に貴女は北京の疾病対策予防センター（CDC）と連絡を取り、依然（ウイルスに関する）調査を続けていましたね。貴女はその時大変な事が起きたと報告し、彼ら（上司）から「気をつけろ、レッドラインに触れるな、さもなければ消される」と注意された。

そのように言われたのですね。何か話し合いをしたことは？

### 【閔博士】

そうです。実際、私は上司レオ・プーン（潘烈文）教授から、二度目の調査を任命される前に言われました。彼は「気を付けて行動しなさい、でないと消される」とまるで警告をしているようでした。そして私が調査の内容を報告し、その情報が CDC（疾病対策予防センター）、中国大陸の CDC も含めて、武漢や他の都市の医師たちから集めたものであることなどを彼に告げた時、彼は再度私に「気を付けなさい、でないと消される」と言ってきました。

### 【バノン氏】

彼らから「消される」と言われたとき、その言葉は中国人にとって何を意味するのかね？

### 【閔博士】

それは、今後あなたはもうこの世には存在しない、全ての人に忘れられ、誰もあなたに関することを知ることが出来ないということです。

ネットであなたについて検索をしても何も得られない、あなたの家族も口を閉ざされ、もしくは彼らでさえも消される。誰もあなたのことを覚えていない、覚えることすら出来ないということです。

### <Part III>

#### [バノン氏]

閔博士、彼らは貴女の経歴から貴女が何か見つけ出したことを知り、貴女を消そうとしていた。貴女はウォールストリートジャーナルが呼びかけているように、中共が自発的に武漢の実験室を全面開放することになると信じていますか？

#### [閔博士]

まず別の観点からお話します。実際、このこと（ウイルス）は、武漢ウイルス研究所だけでなく、ウイルスを扱う全ての研究機関が関係しており、これらの機関は中共によって完全に制御、若しくはかなりの度合いで影響されています。つまり、中国本土（の研究機関）に限らず、私が勤務していた香港の WHO 基準試験所でさえも中共によってコントロールされています。中共の意思に逆らうことなく、命令に従っています。

#### [バノン氏]

WHO、つまりあなた達の WHO 基準試験所は、実際には WHO の情報収集先として中国本土（の流行病）を香港から監視するはずなのですが、貴女の知る限り、WHO はこのウイルスの真相隠蔽に加担する共犯者なのですか？

#### [閔博士]

私が知っている限り、WHO と中国本土の間のやり取りは実際には我々の香港大学研究室を介して行うのが基本です。我々は彼らの間の架け橋のような役割を果たし、コミュニケーションや良い関係の構築を手助けしています。我々の研究室には WHO の専門家、つまり世界のトップの学者が何人もおり、彼らには中国で何が起きているのかを WHO に報告する責任があります。これは WHO にとって潜在的な公衆衛生上のリスクであり、WHO はタイムリーに世界に通告する責任があるのです。

実際、その専門家たちは（感染大爆発を）知っていたと確信しています。私は上司と夫に直接それを話し、夫はマリク・ピーリス教授に直接伝えていきます。しかし、彼ら専門家は何も行動に出ませんでした。WHO と協議したかもしれませんが、最終的には中共政府に協力し、沈黙を保っていたのです。

一番酷いのは、彼らが後に中共政府の「ウイルスの自然由来説」に賛同し、科学的捏造で世界を欺くのに加担したことです。今振り返ってみると、中共ウイルスの発生以来、WHO はどれほどの過ちを犯し、間違った指示を与えて来たかがよく分かります。

### [バノン氏]

では、貴女はこれが中共と WHO が共に犯した欺瞞に満ちた隠蔽工作であると信じて疑わないのですね？

### [閔博士]

もちろんです！